

プラチナアワードの募集では昨年を超える応募が集まり、これからは審査、セレモニー準備と益々お忙しくなることと存じます。昨年的一次きりで終わることなく昨年にも増して盛り上がりを見せているのは本当に嬉しい限りですし、会員のひとりとして誇りに思います。

私はオーストラリアのクイーンランド州 Toowoomba（トゥーンバ市）というブリスベンから西方（奥の方）に約 200km 入った農業、牧畜業を主産業とし、大阪・高槻市と姉妹都市でもある人口約 15 万人のドイツ移民が開拓した町に今年 6 月から住み始めています。そして自宅から更に 90km ほど奥に行ったところに Macquarie Downs という私の勤める農牧場があり、約 9500 ヘクタールの敷地内で和牛約 3000 頭を生産肥育するほか、約 1500 ヘクタールの耕作地で小麦など穀類を栽培しております。Wagyu(和牛)はオーストラリアでは既に英語としても食肉としても定着しており、また和牛の生産肥育牧場（事業体）も豪州内で 300 を越え Australian Wagyu Association (AWA、オーストラリア和牛協会) も大きな組織となっています。

明治時代以降、日本古来の農耕用牛に欧州などからの輸入牛との交配を重ね今の和牛を作りだした日本人に対するオーストラリア人の敬意は、例えば自国の車メーカーが 1 社もなくその代わり日本車をこよなく愛し、滔々と日本車の良さを説く彼らの姿と同じで、それだからこそ日本人であり、今年 6 月まで農業について門外漢であった私としては、和牛の勉強にのめり込んでいる毎日です。そのうえ、今年 10 月の AWA の年次総会でわが Macquarie Wagyu のブランドビーフ「白金(shirokin)」が「Grand Champion Wagyu Brand 2014」を受賞し、国内外から雑誌社や業者が来訪されるにおよび額に冷や汗かきながら対応に忙しくしております。

というわけで、サイボウズは受信の都度閲覧しつつ南半球から大いに声援しておりますが、今のところなんのお役にも立てずに会員として恐縮しております。

ただ私が 2 年前に還暦を迎えた際、人生マラソンの折り返し点として今までの来し方、歩んできた道とは違う道を歩んでみたい、チャレンジしてみたいと思い立って日本人が私だけのこの農牧場にやってきました。自然と動物を相手とする農業経営というものの挑戦ですが、力むことなくそして自然の摂理と共生しながら 20~40 代のオーストラリア人スタッフ（カウボーイ）達と日本が誇る和牛づくり、日本人が愛するうどん、ラーメンの原料である小麦などの穀物づくりに励み、そこに日本を感じながら、そして「ジジィらしく寛容で、温かく、そして少しばかりの知恵・経験を使い」やっていきたいと思っております。いわゆる「アクティブ・シニア」の実践です。

これから先行きどんなドタバタが待っているのかわかりませんが、折に触れその様子、またこちらで感じたことなどを写真付きでお届けさせて頂きたいと思っております。

こちらは真夏のクリスマスシーズン、水着でサーフィンしているサンタさんのポスターも見かけます。逆に日本はホワイトクリスマスを迎えるところが多くなりそうですね。どうぞ皆様、メリークリスマス！そして良いお正月をお迎えください。そして来年は当地へ大自然探訪、ワインナリー探訪、ビール痛飲の旅に足をお運びくださいませ。大歓迎です。それではまた！

プラチナ・ギルドの会 会員・オーストラリア通信員  
荒木政人

2014. 12. 11